

メトロノーム

メトロノーム機能のご紹介

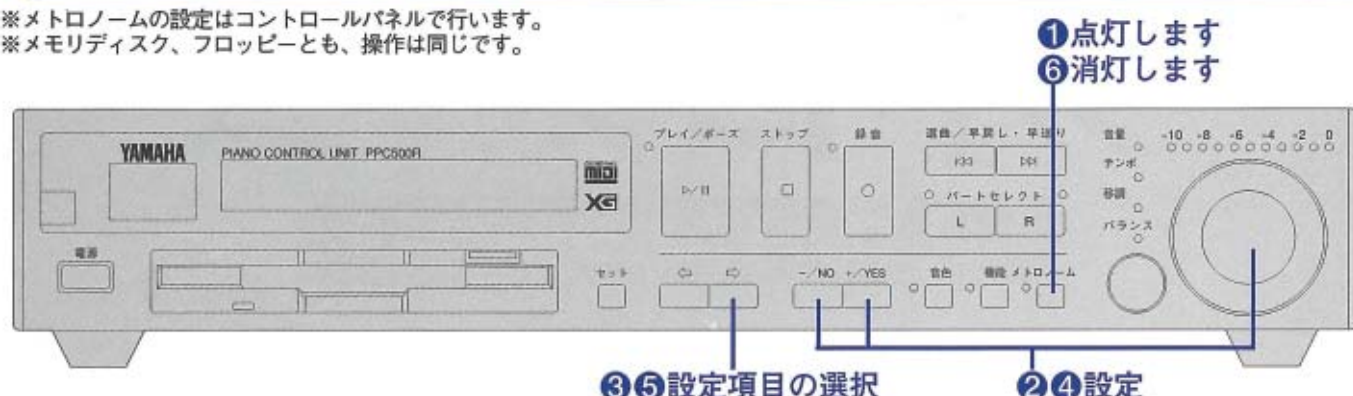
本機は目と耳でテンポを確認できる電子音メトロノームを内蔵しています。この章では、自動演奏の停止中にメトロノームを使う方法を中心に説明しています。さらに、このメトロノームを使って録音すると、曲の経過時間が小節／拍で記録・表示されます。メトロノームの速度はもちろん、サイレント時には音量の調節も可能です。

内蔵メトロノームの使い方	メトロノーム機能	P36
メトロノームの設定範囲	メトロノーム機能	P36
メトロノームを使って録音する	メトロノーム録音	P48
弾きはじめのきっかけをつかむ	ペダルカウントの再生	P20
弾きはじめのきっかけを録音する	ペダルカウントの録音	P60

メトロノームの使い方

内蔵メトロノームを使ってみましょう

※メトロノームの設定はコントロールパネルで行います。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



自動演奏の停止中に
メトロノームを鳴らす

1 メトロノームボタンを押す

==メトロノーム== (一、十、←、→)
クリック=ON ♪▶117 >4/4 →

速さを設定 拍子を設定

メトロノーム音を発音する(ON) /
しない(OFF)の選択

2 ダイヤル、一/NO、十/YESボタンで速さを設定する

==メトロノーム== (一、十、←、→)
クリック=ON ♪▶090 >4/4 →

3 カーソルボタン◀▶で「▶4/4」と表示させる

==メトロノーム== (一、十、←、→)
クリック=ON ♪▶120 ▶4/4 →

4 ダイヤル、一/NO、十/YESボタンで拍子を設定する

==メトロノーム== (一、十、←、→)
クリック=ON ♪▶120 ▶3/4 →

《サイレント機能使用時》

5 カーソルボタン◀▶で次画面を表示させ、ダイヤル、一/NO、十/YESボタンでメトロノーム音量を設定する

==メトロノーム== (一、十、←、→)
+V o 1▶100 へ* タル カウント=OFF

※カーソルボタン◀▶で前画面に戻ります。

※サイレント機能使用時のみ「Vol=100」と表示され、メトロノーム音量が設定可能です。

6 もう1回メトロノームボタンを押せば、メトロノーム解除

PIANO○○○. MID (012-3) →
S O X G



- メトロノーム音とダイヤル上部の点滅で、拍子・テンポを知らせます。
- メトロノームの設定範囲

メトロノーム音	ON (発音する)、OFF (発音しない)
テンポ=♪	30~400 (♪=001ステップ) *数値は1分間の拍数です
拍子	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、8/4、9/4
音量	50~127 (サイレント機能時のみ音量設定可能)

※メトロノーム録音時も設定範囲は同じです。

●拍子はすべて4分音符で、テンポも常に♪=○○○でカウントします。拍子を8分音符で数えるものや、♪=○○○などのテンポは換算してください。



- ①~④の画面でカーソルボタン◀▶を1回押し、ダイヤル、一/NOボタンで「クリック=OFF」とすれば、メトロノームを鳴らさずに、ディスプレイ上部の点滅のみでテンポをカウントさせることもできます。
- メトロノームボタンが点灯していれば、いつでも設定を変更できます。
- ③⑤で、一/NO、十/YESボタンを同時に押すと、①の初期値に戻ります。

楽しみ方を広げるLR録音

- LR録音した曲は、1曲の中にL、Rの2パートが録音されています。LR録音対応ソフトやLR録音した曲が選曲されると、パートセレクトボタンが2つとも緑に点灯します。

L	Left (左手)	低音側・左手パート
R	Right (右手)	高音側・右手パート

- 2つのパートを別々に再生できるのがパートキャンセル機能。ふつうの録音で録った曲は1パートしかないので、パートキャンセルできません。
- LR録音なら、連弾曲をひとりで仕上げたり、左手だけ集中練習したりと、使いこなしもいろいろ。演奏はフロッピーで持ち運びできるので、遠いところに住んでいる方との合奏なども楽しめます。
- 2つのパートを別々に録音する時、L、Rどちらのパートから先に録ってもかまいません。ペダリングは1パート目に録音されますが、2パート目で録音し直したい場合は、ペダルセットアップを使います。

ペダル	ロクオン	OFF	鍵盤演奏	1回目の演奏+2回目の演奏
			ペダリング	1回目のペダリング
ペダル	ロクオン	ON	鍵盤演奏	1回目の演奏+2回目の演奏
			ペダリング	2回目のペダリング

- LR録音してしまってから、再録音で1パートだけ録音し直すこともできます。再録音を行う場合は、L、Rどちらのパートを直すのかを指定しないと、下の表示になります。直したい方のパートセレクトボタンを押して、赤く点灯させれば、引き続き操作できます。

ロクオン トラックリ エラント クタ サイ

[*参照ページ]

◆LR録音……P52

◆LRスプリット録音……P55

録音

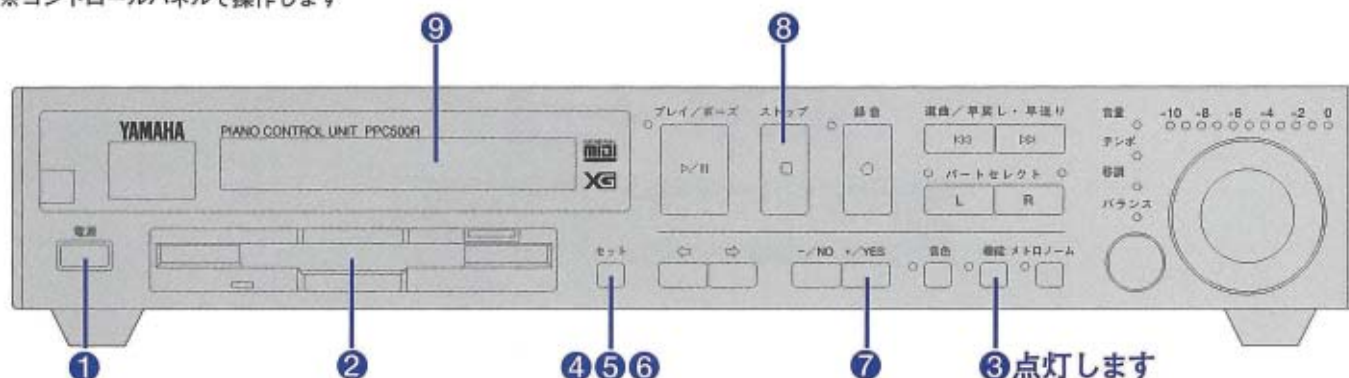
録音機能のご紹介

ご自分の演奏、お子さまの演奏、お友達の演奏……。再生だけでなく、録音できるのもサイレントアンサンブルピアノの大きな特長です。ピアノだけでなく、リズムパートや伴奏パートを加えたアンサンブル曲の録音も行えます。なお、「フォーマットのしかた」は、フロッピーを使う前に必ずお読みください。

新しいフロッピーを買ったら—————	フォーマットのしかた	P40
基本的な録音方法は？—————	基本的な録音のながれ	P42
パートキャンセルできるソフトを作る—————	LR録音	P52
*2度目の録音のペダリングを生かす—————	LRセットアップ(ペダルロックオン)	P54
*両手を一度に録音する—————	LRスプリット録音	P55
ピアノ以外の楽器パートを録音する—————	アンサンブルパートの録音	P56
リズムセクションを録音する—————	リズムパートの録音	P58
フロッピーに名前をつける—————	タイトル入力	P46
曲名を入力する—————	タイトル入力	P46
メトロノームを使って録音する—————	メトロノーム録音	P48
弾きはじめのきっかけを録音する—————	ペダルカウントの録音	P60
メトロノーム通り正確なリズムで録音する—————	クオンタイズ	P50
何度かに分けて録音する—————	オーバーダビング	P50
録音した曲を録り直す—————	再録音	P44
録音した曲のテンポを変える—————	録音テンポ変更	P62
MIDI機器、パソコンからデータを記録する—————	MDR機能	P63

フォーマットのしかた 新しいフロッピーを使用する前に行います

※コントロールパネルで操作します



停止中に操作します

1 電源ボタンを押す

***** YAMAHA *****
SILENT ENSEMBLE PIANO

2 フォーマットしたいフロッピーを入れる (3.5インチ2DD、2HDタイプ)

ディスクカ フォーマットサレテイマセン

3 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

※メモリディスクのフォーマットは④から操作を始めてください(フロッピーを入れる必要はありません)。

4 表示が「▶ディスク」となっていることを確認して、セットボタンを押す

▶フォーマット *キョク ショウキョ
キョク コピ *キョク ナラビ* カエ →

5 表示が「▶フォーマット」となっていることを確認して、セットボタンを押す

[ディスク フォーマット] (一、十)
▶SMF Type Disk (セット)

※「SMF Type Disk」と「E-SEQ Type Disk」の切り換えは、一/NO、十/YESボタンで行います。



- 「フォーマット」は、フロッピーをサイレントアンサンブルピアノで使えるようにする機能です。
- 新しくお買い求めになったフロッピーは、録音やディスクコピーに用いる前にフォーマットを行ってください。
- ⑥の表示で、タイプを「SMF Type Disk」から「E-SEQ Type Disk」に変更することもできます。ディスクフォーマットのタイプについては、xvii「様々なフォーマット」、P92「フォーマットについて」をご参照ください。
- メモリディスクは工場出荷時にSMFタイプにフォーマットされていますが、再フォーマットをしたり、E-SEQタイプにフォーマットすることも可能です(メモリディスクのフォーマットは④から操作を始めます)。



- すでに内容が書き込まれているフロッピーやメモリディスクをフォーマットすることもできますが、その場合は内容がすべて消去されます。
- フロッピー(またはメモリディスク)の曲を全部消したい時には、フォーマットすると一度に行えます。
- ⑥の表示で一/NOボタンを押せば、フォーマットをキャンセルして⑤の表示に戻ります。

6 もう一度セットボタンを押す

[ディスク フォーマット] イイテ スカ?
SMF Type Disk (YES, NO)

7 +/YESボタンを押すとフォーマット開始

シ ッコウチュウ
ディスク フォーマット トリタ サナイテ !

※フォーマット中は、曲番表示部にフォーマットの進行具合が数字で表示されます。00でフォーマット終了。

※メモリディスクをフォーマット中は2行目(ディスク フォーマット……)が表示されません。

8 約1分後下の表示になったら、ストップボタンを押す

シュウリョウシマシタ
ナニカ ホ タンヲ オシテク タ サイ

9 表示が変わったら、フォーマット終了

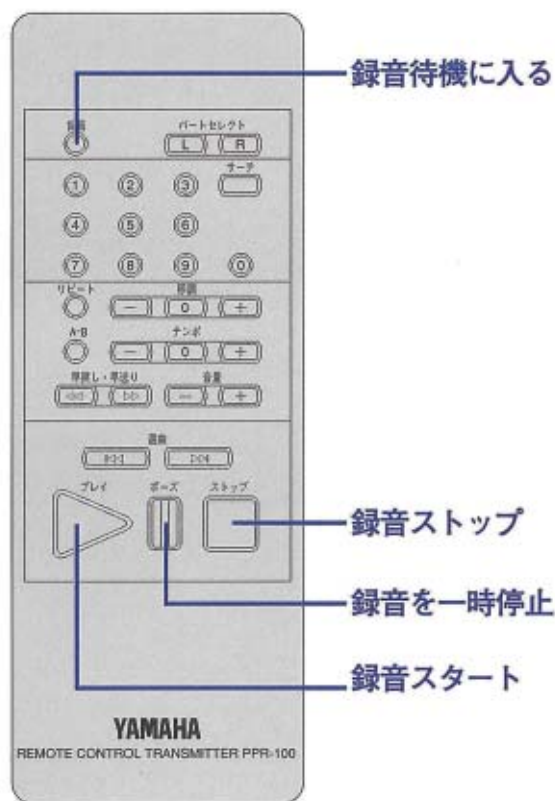
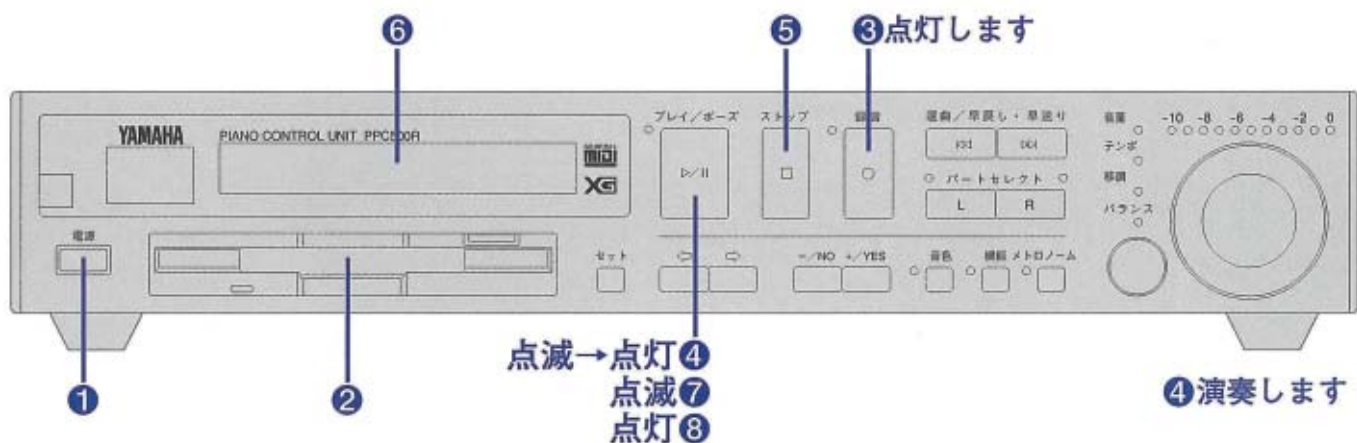
<----->
GM



- フォーマットを始めると(7で+/YESボタンを押すと)、8の表示になるまで途中で止めることはできません。その間にフロッピーを取り出したり電源を切ったりすると、故障の原因になることがありますので、絶対にしないでください。
- プロテクトがオンのフロッピーは、フォーマットできません(xiv「フロッピーディスクについて」参照)。
- ③で「▶フォーマット」と表示されていない場合は、カーソルボタンを押して▶を移動します。
- ディスク機能を途中で終了したい時は、もう1度機能ボタン(またはストップボタン)を押して消灯させます。
- 「ピアノソフト」「ピアノソフトプラス」等の市販ディスクをフォーマットすることはできません。

基本的な録音のながれ

ピアノ演奏の録音のしかたをマスターしましょう



1 電源ボタンを押す

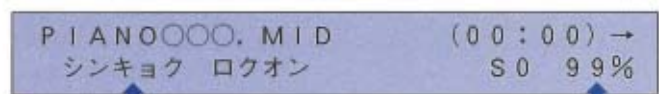


SMF Type Diskが選ばれている状態

2 フロッピーに録音する場合はフロッピーを入れる

2' メモリディスクに録音する場合はフロッピーは不要です。

3 録音ボタンを押して、録音待機に入る



点滅 メモリディスク (またはフロッピー) の残量表示 (%)



- 演奏を始めた時点から録音されます。サイレント状態でも録音できます。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに録音されます。フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- 新しいフロッピーは必ずフォーマットしてから使用します (P40「フォーマットのしかた」参照)。
フォーマット時に選んだフォーマット (SMFまたはE-SEQ) で記録されます。



- 録音ボタンを押すと、新しい曲番号を表示。5曲録音されているメモリディスク (またはフロッピー) なら、自動的に6曲目が選ばれます。
- 新たに録音する場合、自動的にLパートに録音されます (変更も可能)。再生時、パートキャンセルして聴くためには、ここで左手パートのみ録音し、後でRパートに右パートを録音します。詳しくは「LR録音」 (P52参照) をごらんください。
- ピアノ以外のアンサンブルパートやドラムパートを録音する場合は、②の録音待機状態で、カーソルボタン (または音色ボタン) を押して、トラック選択画面を呼び出してから行います。詳しくは「アンサンブルパートの録音」 (P56)、「リズムパートの録音」 (P58) をご覧ください。
- 録音後は自動的に「PIANO0000.0000」が仮の曲名としてセットされます (ファイル名は自動的に割り振られます)。録音待機状態で録音ボタンを1回押すと、タイトルを付ける画面に移ります (P46「タイトル入力」参照)。
- 「メトロノーム録音」 (P48) を行くと、曲の経過が「分・秒」でなく「小節・拍」で表示されます。

- 4** プレイ/ポーズボタンを押す(ピッと音がします)
演奏を始めてください
演奏を始めた時点から録音が始まります

曲の経過時間を表示

PIANO○○○.MID (00:02) 98%

録音音量レベル表示

- 5** 演奏が終わったらストップボタンを押す

シッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

- 6** 表示が変わったら、録音終了

PIANO○○○.MID (00:00) → S O X G



録音を一時停止したい時

- 7** プレイ/ポーズボタンを押せば、録音を一時停止

PIANO○○○.MID (00:52) 92%

- 8** もう1回プレイ/ポーズボタンを押すと、録音再開

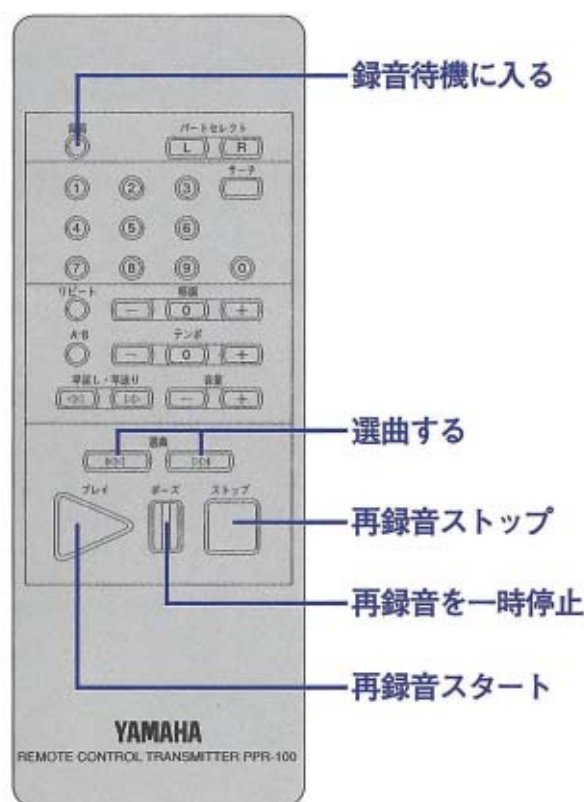
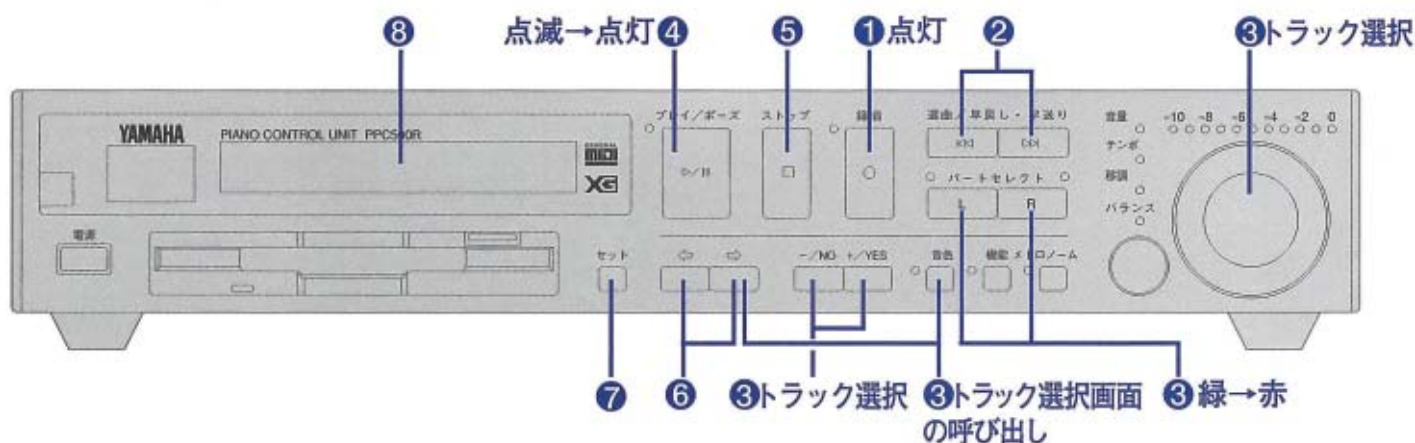
PIANO○○○.MID (00:53) 91%

●④で録音をスタートしたら、鍵盤を弾く前に、曲のテンポで数回ダンパーペダルを踏んでペダルカウントを録音することができます(P80「ペダルカウントの録音」、P20「ペダルカウント再生」)参照。



- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもピッと音は鳴りません。
- フロッピーに録音中や⑤の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑥の表示になってからフロッピーを取り出してください。
- ⑥の表示で右下が「DSK」と点滅していたら、メモリディスク(またはフロッピー)の残量が10%以下です。メモリディスクが一杯になったら曲をフロッピーに移します(P80「曲コピー」、P84「ディスクコピー」参照)。フロッピーの場合は空きのあるものと交換してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする時、「ディスクニプロテクトガカッテイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

再録音 録音済みの曲を、新たに録音し直す



メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。

1 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO ○○○. MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 56%

2 録音し直したい曲の曲番号を選ぶ

※メトロノーム録音を選択した時はメトロノーム音が鳴ります。

3 録音トラックを選ぶ

※ピアノパートの場合はパートセレクトボタンで選択。
※アンサンブルパートの場合は右向きのカーソルボタンまたは音色ボタンでトラック選択画面を呼び出し、ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで選択。

4 プレイ/ポーズボタンを押すと(ピッと音がします) 再録音スタート、演奏を始めてください

○○○○○○○○○○ (00:02)
■ S0 55%



- すでに録音してある曲を選び、同じ曲番号に新たに録音し直す機能です。
- 再録音後、録音してあった元の曲を消して再録音曲を保存するか(オキカエ)、元の曲も再録音曲も両方とも保存するか(シンキョク)、再録音曲を保存せず元の曲のままにするか(キャンセル)を、選択できます。シンキョクには新しい曲番号がつきます。



- ピアノパートが録音された曲を選ぶと、パートセレクトボタンの内、すでに録音されているパートのランプが緑に点灯します。再録音したいパートのボタンを押してください(赤く点灯します)。
- アンサンブルパートを再録音する場合はカーソルボタン ⇨ または音色ボタンを押してトラック選択画面を呼び出し、ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで録音トラックを選びます(P56「アンサンブルパートの録音」参照)。
- トラックを指定しないでプレイ/ポーズボタンを押すと、下のような画面になります。

ロクオン トラックヲ エランデ クタ サイ

5 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

デ`ィスクニ ホソ`ンシマスカ? (←、→)
▶オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

6 3つのうちから選び、カーソルボタンを押して▶を移動させる

デ`ィスクニ ホソ`ンシマスカ? (←、→)
*オキカエ ▶シンキョク *キャンセル (セット)

オキカエ………録音してあった元の曲を消して再録音曲のみ保存
シンキョク………元の曲も再録音曲も両方とも保存
キャンセル………再録音曲を保存せず元の曲のままにする

7 セットボタンを押す

シ`ッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

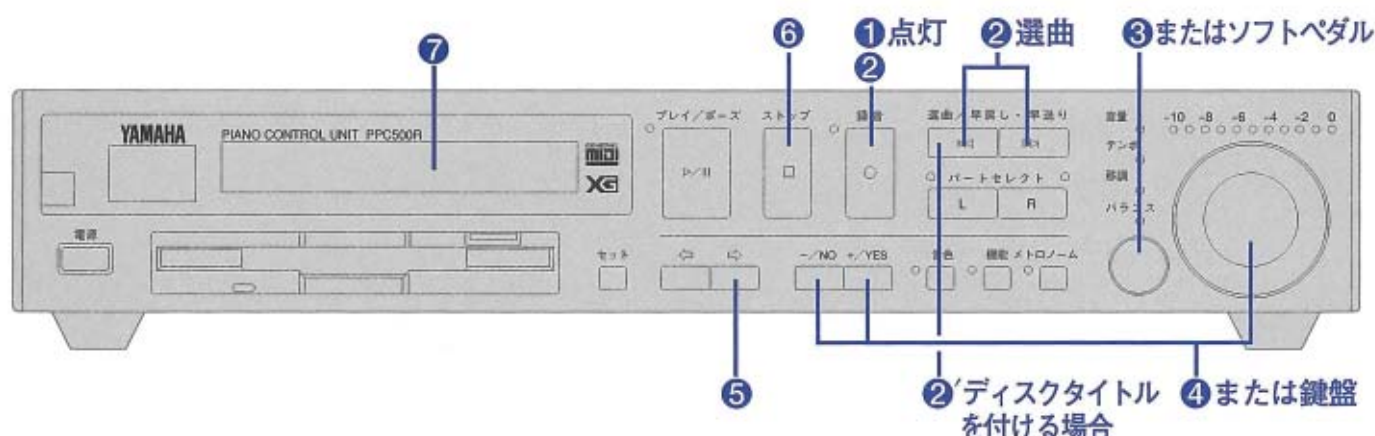
8 表示が変わったら、再録音終了

○○○○○ (00:00) →
S O X G



- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもピッという音は鳴りません。
- 再録音するトラックに録音済みデータが入っていた場合、そのデータを破棄して新しく録音したデータのみ記録する(「オキカエ」)か、録音済みデータはそのまま新しく録音した演奏をプラスする(「カサネドリ」)かが選択できます(P50)。
- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクラトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑧の表示になってからフロッピーを取り出してください。
- メモリディスク(またはフロッピー)の残量が10%以下の場合、ディスプレイ右下に「DSK」と表示されます。
- ⑥⑦の操作は、リモコンではできません。
- スタンダードMIDIファイル・フォーマット1の曲は再録音できません。

タイトル入力 曲名やディスクのタイトルを記録する



曲にタイトルを付ける場合

1 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 70%

2 曲にタイトルをつける場合は、選曲ボタンで曲を選び、もう1回録音ボタンを押す

カタカナや数字記号が入力できる状態

← カーソル →+MOJI
←→カーソル



ディスクにタイトルを付ける場合

1 録音ボタンを押して録音待機に入る

PIANO○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 70%

2 メモリディスクやフロッピーにタイトルをつける場合は、1曲目を選び、さらに選曲/早戻しボタン [KK] を押す(曲番号表示が消えるまで [KK] を押し続ける)

カタカナや数字記号が入力できる状態

← カーソル →+MOJI
←→カーソル

3 英文字を入力したい時は、セレクトボタンを押すか、ソフトペダル(一番左のペダル)を1回踏む

→+MOJI
←→CRSR

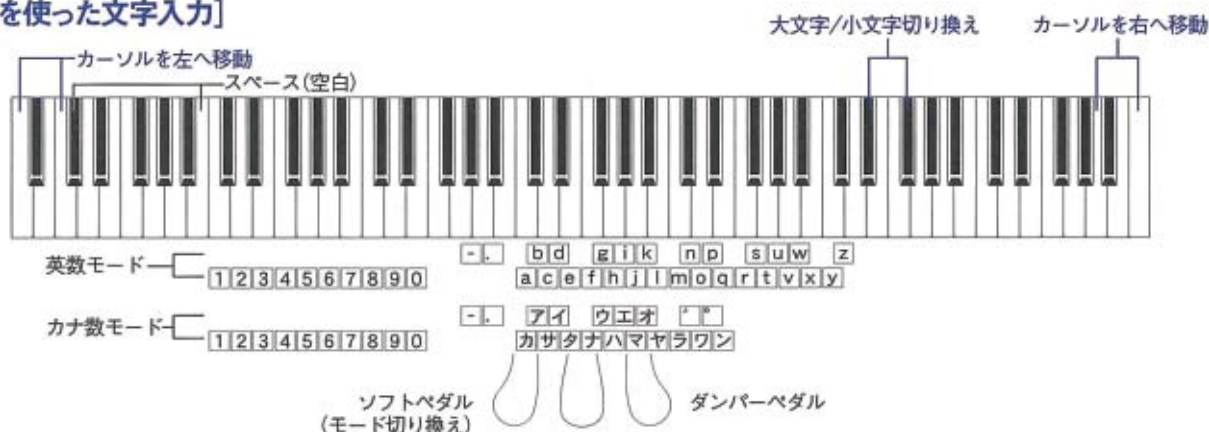


- 録音した曲やメモリディスク、フロッピーにタイトルをつける機能です。ディスクタイトル(メモリディスクまたはフロッピー)は電源オンやフロッピー挿入時に右から左へと表示されます。
- 入力できる文字数は、曲名16文字×2行、ディスクタイトル64文字まで。文字は、カタカナ、アルファベット(大文字・小文字)、数字・記号が使える、文字と文字の間に空白をあけることもできます。
- カタカナと数字・記号が入力できる「カナ数モード」と、アルファベットと数字・記号が入力できる「英数モード」があります。
- タイトルは、一度入力した後も自由に変更できます。



- あらかじめ仮の曲名([PIANO○○○.○○○])がセットされていますが、内容がよく分かるタイトルをつけることをおすすめします。
- カーソルのある位置に文字が入力できます。カーソルを戻して書き直したり、カーソルを移動して空白を設けることもできます。一旦入力した文字を消して空白に置き換える場合は、スペース(次ページ参照)を使います。
- カナ数モードと英数モードは、セレクトボタンまたはソフトペダル(一番左のペダル)を踏むごとに切り換わります。
- 録音済みの曲にタイトルを入力し、そのままプレイ/ポーズボタンを押して録音すると、再録音(P44参照)になります。
- タイトル入力画面(②~⑤)で録音ボタンを押すと、クオンタイズやオーバーダビングの設定が行えます(P50参照)。
- フロッピーのタイトルや曲名の入力中や⑥の表示中は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

「*鍵盤を使った文字入力」



- 鍵盤でのカタカナ入力にはローマ字入力方式です。まず子音のキーを押し、母音のキーを押して、文字を入力します。
- 《例：「ツ」の入力》
- まず子音の鍵盤を弾きます。タ行なので……中央のミ (E3) を弾く
- 次に母音の鍵盤を弾きます。ウ音なので……少し右のファ# (F3#) を弾く
- カナ数モードの「アイウエオヤユヨ」やアルファベットの小文字を入力する時は、中央のドより2オクターブ高いレ# (D5#) ～ファ# (F5#) のいずれかを弾くことにより、大文字／小文字が切り換わります。

「*コントロールパネルによる文字入力」

- ダイヤル、－／NO、＋／YESボタンにより文字が次の順で現れます。
- 《カナ数モード》
- ☐ アイウエオカキク… (中略) …ヤユヨラリレロワン' * ラアイウエオヤユヅ。[]、・！"＃\$％&'（）＊＋、－、／；；＜＝＞？0123456789
- ↑スペース(空白)
- 《英数モード》
- ☐ ABC… (中略) …XYZabc… (中略) …xyz！"＃\$％&'（）＊＋、－、／；；＜＝＞？0123456789
- ↑スペース(空白)
- －／NO、＋／YESボタンを同時に押すとスペース(空白)をスピーディに入力できます。1文字削除したい時などに便利です。

4 ダイヤル(または- / NO、+ / YESボタンまたは鍵盤)で文字を選ぶ

玉 一十モシ°
←→カーソル

5 カーソルボタン ⇨ を押してカーソルを移動し、次の文字を入力する

モ_ ←カーソル ー+モシ*
 ←カーソル

- ※**4**・**5**を繰り返して入力します。
※入力後演奏を録音する場合は、プレイ/ポーズボタンを押し、演奏を始めます(新曲の場合は、録音しないと曲名が記録されません)。

6 入力し終わったらストップボタンを押す

シ・ ツコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクロトリダサナイデ!」が2行目に加
わります。

7 表示が変わったら、タイトル入力終了

モーツァルト (00:00) →
S0 GM



- 録音済みの曲にタイトルをつけたり、タイトルを変更した場合、⑥でストップボタンを押すと次の表示が出ます。カーソルボタンで3つの中から選んでセットボタンを押してください(P44「再録音」参照)。

▶ オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

オキカエ	録音してあった元の曲を消して再録音曲のみ保存
シンキョク	元の曲も再録音曲も両方とも保存
キャンセル	再録音曲を保存せず元の曲のままにする

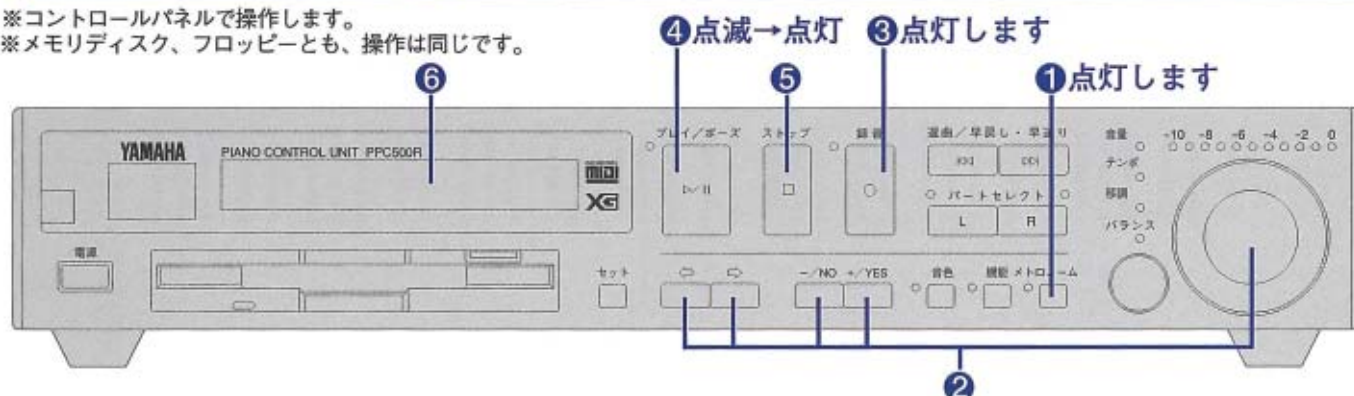
- 演奏の入っていない新しい曲番号に曲のタイトルだけ入力することはできません。
●③～⑤の操作は、リモコンではできません。

メトロノーム録音

メトロノームに合わせて演奏を録音

※コントロールパネルで操作します。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



- 1** メトロノームボタンを押す
(メトロノームが鳴り始めます)

==メトロノーム== (ー, +, ←, →)
クリック=ON ♪▶ 1 1 7 > 4/4 →

- 2** 速さと拍子を設定する
カーソルボタンで設定項目を選び、
ダイヤル、ー/NO、+ /YESボタンで設定する

==メトロノーム== (ー, +, ←, →)
クリック=ON ♪▶ 1 4 0 > 4/4 →

電子メトロノーム音を
発音する(ON) / しない(OFF)を選択



- メトロノーム録音とは、曲の経過時間でなく、小節・拍で演奏データを管理する録音方法です。録音時には、内蔵の電子メトロノーム音を聴きながら、演奏することができます。ディスプレイやダイヤル上部の点滅でもテンポ・拍子を知ることができます。
- 設定範囲は♩=30~400 (SMF曲) / ♩=30~280 (E-SEQ曲)、1/4~3/4拍子です(P36「メトロノーム機能」参照)。
- メトロノーム設定画面(①②)でカーソルボタン⇄を押して次画面を呼出し、ペダルカウントのオン/オフを設定できます(P36「メトロノーム機能」参照)。



- メトロノームを鳴らさずに、ディスプレイや表示のみでテンポをカウントさせることもできます(クリック=OFF)。
- ②で、ー/NO、+ /YESボタンを同時に押すとそれぞれ初期値に戻ります。



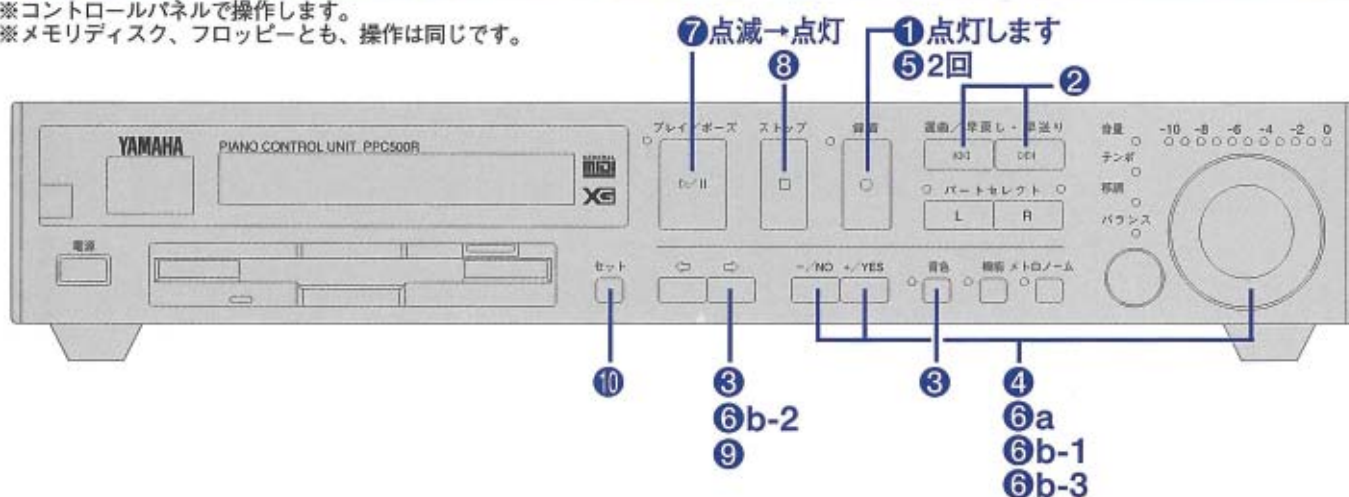
- メトロノーム音は、ヘッドフォンまたは補助出力端子(AUX OUT)に接続したスピーカーでお聴きになれます。
- メトロノーム設定画面(①②)でカーソルボタン⇄を押して次画面を呼出し、メトロノームの音量やペダルカウントのオン/オフを設定できます(P36「メトロノーム機能」参照)。



- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクワトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- メトロノーム録音曲から時間録音曲への変更は、「カウンター変更」(P88)で行います。
- メトロノームの設定をして録音ボタンを押した後で、時間録音に戻りたい場合は、プレイ/ポーズボタンを押す前に、もう1回メトロノームボタンを押すと、通常の時間録音待機になります。

クオンタイズとオーバーダビング 録音タイミングの補正機能と複数回に分

※コントロールパネルで操作します。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

PIANO○○○.MID <001-0>→
シンキョク ロクオン S0 80%

2 曲番号を選ぶ

PIANO○○○.MID <001-0>→
S0 80%

3 カーソルボタン⇄または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す

▶01 001<GrandPno>Vol=100
←●-----○-----→

4 ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで、録音トラックを選ぶ

5 録音ボタンをもう2回押す

《時間録音の場合》

（-，+）
ロクオン トラック▶オキカエ

6a ダイヤル、+ / YESボタンで「ロクオン トラック▶カサネドリ」と表示させる

（-，+）
ロクオン トラック▶カサネドリ



●時間録音では録音トラックの「オキカエ／カサネドリ」の選択ができます。メトロノーム録音では「オキカエ／カサネドリ」の選択に加えて「クオンタイズ」の設定も可能です（時間録音ではクオンタイズはできません）。

[オーバーダビング]

●オーバーダビング（カサネドリ）は、録音済みの演奏データはそのまま、新しく録音した演奏をプラスします。一方「オキカエ」は、これまでトラック内にあったデータを破棄して、新しく録音した演奏のみを記録します。

●オーバーダビングは、打楽器を順次追加しながらリズムパートを録音する場合などに便利です（P58）。

《メトロノーム録音の場合》

クオンタイズ ▶ OFF (←, +)
ロクオン トラック=オキカエ (←, →)

6b-1 クオンタイズを設定する場合は、ダイヤル、
- / NO、+ / YES ボタンで行う

クオンタイズ ▶ 1 / 8 (←, +)
ロクオン トラック=オキカエ (←, →)

6b-2 「ロクオン トラック」を「カサネドリ」に変
更する場合は、カーソルボタン ⇨ を押す

クオンタイズ = 1 / 8 (←, +)
ロクオン トラック ▶ オキカエ (←, →)

6b-3 ダイヤル、+ / YES ボタンで「ロクオン ト
ラック ▶ カサネドリ」と表示させる

クオンタイズ = 1 / 8 (←, +)
ロクオン トラック ▶ カサネドリ (←, →)

7 プレイ/ポーズボタンを押して、録音をスタート

8 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

デ ィ ス ク ニ ホ ソ ン シ マ ス カ ? (←, →)
▶ オキカエ * シンキョク * キャンセル (セット)

9 3つのうちから選び、
カーソルボタンを押して ▶ を移動させる

デ ィ ス ク ニ ホ ソ ン シ マ ス カ ? (←, →)
* オキカエ ▶ シンキョク * キャンセル (セット)

オキカエ……録音してあった元の曲を消して再録音曲のみ保存
シンキョク……元の曲も再録音曲も両方とも保存
キャンセル……再録音曲を保存せず元の曲のままにする

10 セットボタンを押す

シ ッ コ ウ チ ュ ウ

※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加
わります。

11 表示が変わったら、録音終了

【クオンタイズ】

●クオンタイズは、メトロノーム録音の⑥b-1であらかじめ拍子を設定しておけば、その位置に録音してくれる機能です。特に、リ
ズムパートをメトロノーム通り正確に録音したい時に便利です。設定値は、録音する最も短い音符を選びます。

クオンタイズ=1/8の例



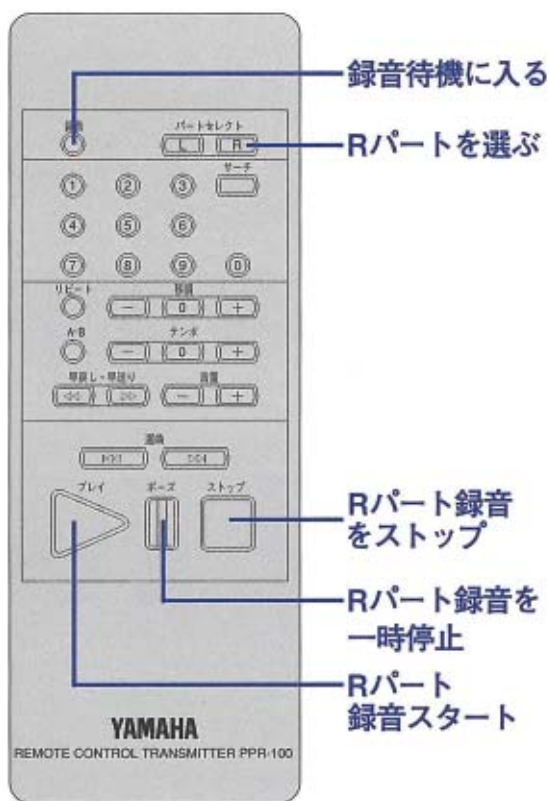
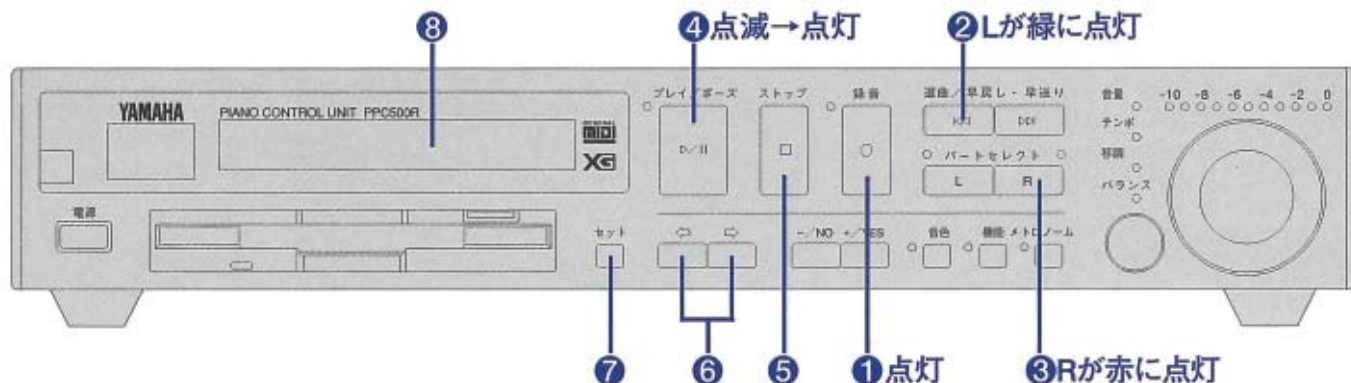
●クオンタイズの設定範囲

拍子	1/4、1/6、1/8、1/12、1/16 ……設定された拍子の位置に録音されます
OFF	……鍵盤を弾いたタイミング通りに録音されます

LR録音(追加録音のしかた)

パートキャンセルできる曲の録音

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



◆Lパート(1パート目)の録音

新たに録音しようとする自動的にLパートが選ばれますので、まず左手パートを「基本的な録音のながれ」(P42)に従って録音してください。



◆Rパート(2パート目)の追加録音

1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

12

PIANO○○○. MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 56%

2 選曲ボタン [K3] でLパートを録音した曲番号を選ぶ

録音したい曲番号
↓
02

PIANO○○○. MID (00:00) →
S0 56%



- 1曲の中の低音側・左手パート(L)と、高音側・右手パート(R)を別々に録音できる機能です。LR録音した曲は、パートキャンセルして聴くことができます(Lに両手演奏を録音して、Rに装飾音のみ録音するといった使い方も可能です。また、Lパートに高音側、Rパートに低音側を録音することもできます)。
- 1パート目を録音する際、LRどちらのパートから先に録っても構いません。録音ボタンを押すと自動的にLパートが選ばれますが、先にRパートを録音したい場合は、Rパートボタンを押して下さい(これから録音するパートセレクトボタンは赤く点灯し、録音済みのパートセレクトボタンは緑に点灯します)。
- 2パート目の録音時(1パート目と同じ曲番号に録音)は、1パート目の演奏とペダリングの再生に合わせて録音できます。



- ペダル効果は、1パート目に録音され、2パート目のペダリングは録音されない設定になっていますが、2パート目の録音時にペダル効果を録り直したい時は、あらかじめ「LRセットアップ」(P54参照)を行います。
- 1パート目の録音のテンポを変更して、それに合わせて2パート目を録音することもできます(P62「録音テンポ変更」参照)。

[*パートセレクトとLR録音]

<div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div>	Lを押して、赤く点灯させる	Lパートを録音
<div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div>	Rを押して、赤く点灯させる	Rパートを録音
<div> <div>パートセレクト</div> <div> <div>L</div> <div>R</div> </div> </div>	L、Rともに押して、両方赤く点灯させる	スプリット録音

3 曲番号を確認し、パートセレクトのRボタンを押す

PIANO○○○. MID (00:00) →
S0 56%

4 プレイ/ポーズボタンを押し(ピッと音がします)、 Rパート録音をスタート

※Lパートの再生に合わせて弾き始めます。

曲の経過時間を表示

○○○○○ (00:02)
■ S0 55%

Rパートの録音音量レベル表示

5 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

ディスクニ ホソンシマスカ? (←, →)
▶オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

[Lパート(既録音)にRパートを追加録音した場合]

	操 作	記録されるパート	曲番
L・RパートをLR曲として保存	オキカエ	L+R	元の曲番
Lパートは元のままで、L・Rパート の入ったLR曲を新曲として保存	シンキョク	L+R	新しい曲番
		L	元の曲番
Lパートを元のまま保存し、Rパートは保存しない	キャンセル	L	元の曲番

6 3つのうちから選び、 カーソルボタンを押して▶を移動させる

ディスクニ ホソンシマスカ? (←, →)
*オキカエ ▶シンキョク *キャンセル (セット)

7 セットボタンを押す

ジッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加
わります。

8 表示が変わったら、Rパート録音終了

○○○○○ (00:00) →
S0 XG

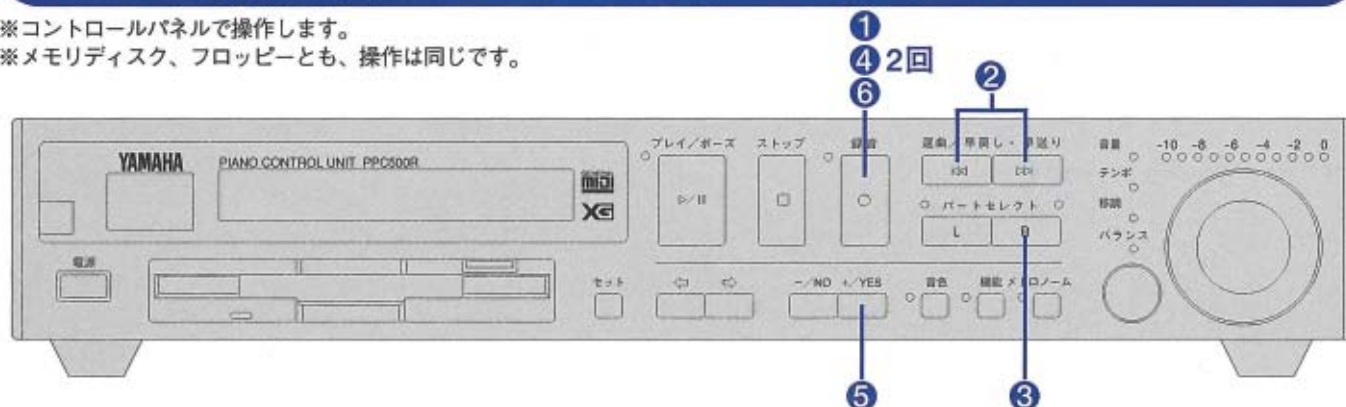


- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもピッと音は鳴りません。
- 録音中や⑦の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 1パート目の録音ですでに押されている鍵盤を、2パート目の録音時にその上から押し続けたりしても再生できません。
- ⑤⑥の操作はリモコンではできません。

LRセットアップ ピアノの2パート目の録音時に録音済みのペダルを録り直す

※コントロールパネルで操作します。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



2パート目(R)の録音時にペダルを録り直したい

1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

○○○○○ (00:00) →
S0 78%

2 選曲ボタンで録り直したい曲を選ぶ

02 PIANO○○○.MID (00:00) →
S0 78%

↑ 録り直したい曲番号

3 曲番号を確認し、パートセレクトのRボタンを押す

PIANO○○○.MID (00:00) →
S0 78%

4 録音ボタンをもう2回押す

ペダル ロクオン ▶OFF (←, +)
ピアノ モニター =ON (←, →)

※ペダルロクオン…再録音時にペダル演奏を録音(置き換え)するかどうかの設定

※ピアノモニター…再録音中に再生パート(Rパートを再録音するならLパート)をピアノでモニターするかどうかの設定

5 +/-YESボタンを押して、「ペダルロクオン ▶ON」と表示させる

ペダル ロクオン ▶ON (←, +)
ピアノ モニター =ON (←, →)

6 ふたたび録音ボタンを押して、録音待機に戻る

○○○○○ (00:00) →
S0 78%

7 2パート目の録音を行い、保存します (P52「LR録音」参照)。



- 2パート目の録音時に、1パート目のペダリングを取り消し、ペダル効果を録り直す機能です。操作は1パート目をL、2パート目をRとして説明していますが、LRのどちらから先に録っても機能は同じです。
- 同じ設定画面で、1パート目の演奏をピアノ音で再生する/しないの設定も可能。内蔵音源で1パート目を再生させたい場合は、「ピアノモニター=OFF」を選択します。



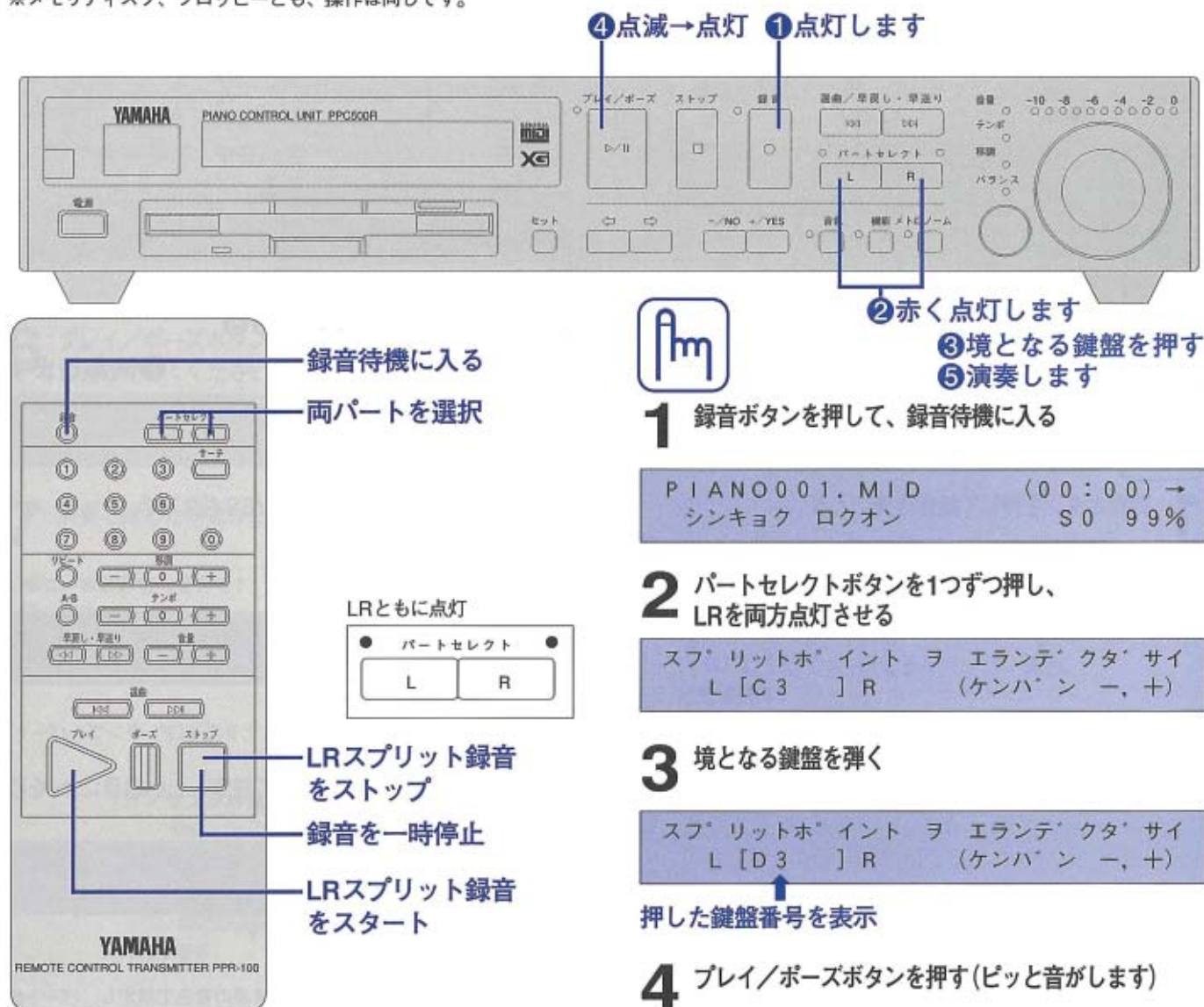
- 「ペダルロクオン=ON」なら、ピアノ電子音で鳴っている2パート目の演奏に対してペダリングが有効です。ペダル録音=OFFなら、ピアノ電子音で再生されている1パート目のペダルデータが有効です。
- 「ピアノモニター=ON」なら、1パート目の再生も2パート目の演奏もピアノ電子音が発音します(1パート目の再生の鍵盤の動きはキャンセル可能(P4参照))。「ピアノモニター=OFF」の時、1パート目は内蔵音源でのみ発音可能、2パート目の演奏はピアノ電子音が発音します。



- ペダルロクオン、ピアノモニターの設定は録音が終わると解除され、元の設定(●)に戻ります。

LRスプリット録音 鍵盤をある音を境に2パートに分け、同時に録音する

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

PIANO001. MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 99%

2 パートセレクトボタンを1つずつ押し、
LRを両方点灯させる

スフ^{*} リットホ^{*} イント ヲ エランテ^{*} クタ^{*} サイ
L [C3] R (ケンバ^{*} ン ー, +)

3 境となる鍵盤を弾く

スフ^{*} リットホ^{*} イント ヲ エランテ^{*} クタ^{*} サイ
L [D3] R (ケンバ^{*} ン ー, +)

押した鍵盤番号を表示

4 プレイ/ポーズボタンを押す(ピッと音がします)

PIANO001. MID (00:00)
98%

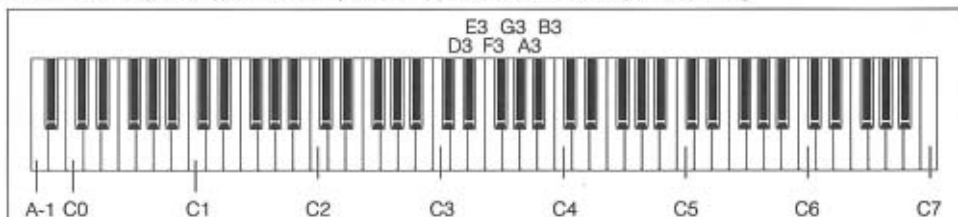
5 演奏を始めた時点から、LRスプリット録音スタート
(P42「基本的な録音のながれ」参照)。



- 1回の録音で1キーを境にLRに分けて録音できる機能。パートキャンセルして聴くことができるLR録音のひとつです。
- スプリットポイント(境となる1キー)の設定範囲は、A-1~C7。ピアノ鍵盤のどのキーでも境に指定できます。境の音はLパート側になります。



- パートセレクトボタンは、LとRを1つずつ押します。どちらが先でも構いません。
- ふつうの録音と同じように、録音を一時停止することもできます。
- ③のスプリットポイントの指定は、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンでも操作できます。
[鍵盤と音名]



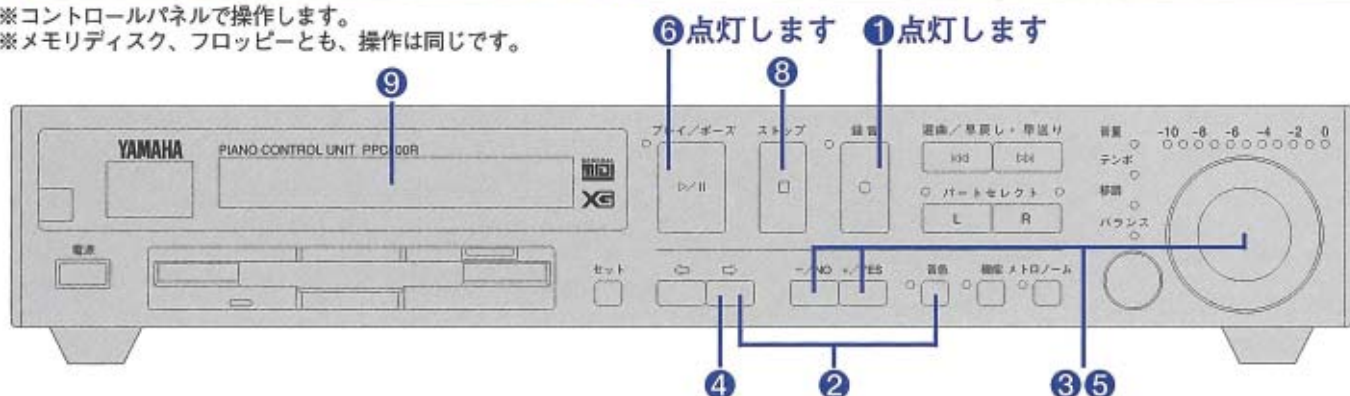
- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもピッと音は鳴りません。
- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクヨトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

アンサンブルパートの録音

内蔵音源を使ってピアノ以外のパートも録音する

※コントロールパネルで操作します。

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



⑦演奏します

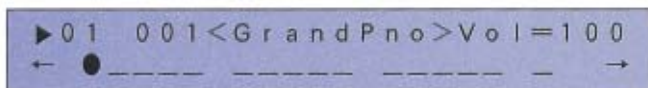


停止中に操作します

1 録音ボタンを押して録音待機に入る



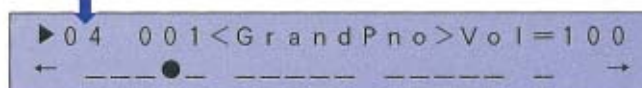
2 カーソルボタン⇐⇒または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す



「—」はそのトラックに何も録音されていないことを表す
「●」はそのトラックが選ばれていることを表す(ピアノパート)

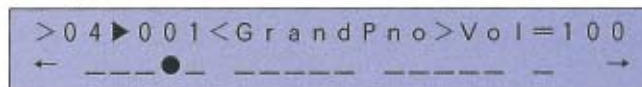
3 ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで、録音トラックを選ぶ

録音トラック番号



「—」は録音可能なトラック
「●」はそのトラックが選ばれていることを表す(アンサンブルパート)

4 カーソルボタン⇐⇒を押して設定したい項目に▶を移動する



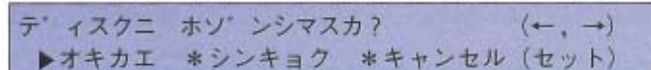
- アンサンブルパートの録音は、まずトラックを選び、そこにどんな楽器パートを録音するか内蔵音源の音色で指定し、パート全体の音量バランス (Vol) を決め、1度に1パートずつ録音します。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに、フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- 最初からアンサンブルパートを録音することも、ピアノパートやリズムパートを録音した後にパートを重ねていくこともできます(再録音(P44)になります)。録音済みのパートの再生を聴きながら、それに合わせて録音していきます。
- 録音トラック・音色・音量の設定範囲

録音トラック番号	01~16.....録音するトラック番号を選びます。
音色	001~128.....内蔵音源の音色番号を指定します(音色の一覧表はP108)。
音量	Vol=000~127.....パート全体の音量です。 0は無音、初期値=100。

※E-SEQ曲の場合は、トラック3はハーフペダル専用パートです。



- ⑤でL、Rパートを選択する時は、パートセレクトボタンでも操作できます。
- ⑤でピアノを弾くと表示中の音色・音量で音源が鳴るので、音色を確かめながら設定できます。
- 録音済みトラックを選び、音色・音量を設定(⑤)後ストップボタンを押せば、音色・音量だけを変更できます。
- 2パート目以降の録音では、⑤で録音結果を保存するかどうかをたずねてきます。



「オキカエ」の場合は録音したパートが加わった曲のみが保存されます。
「シンキョク」の場合は、元の曲はそのまま、録音したパートが加わった曲が新たに作成されます。
「キャンセル」の場合は、録音結果は保存されません(元の曲はそのままです)。

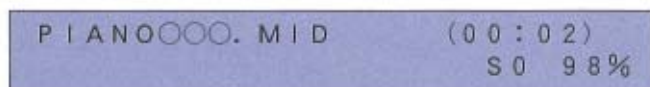
●録音の一時停止や、メトロノーム録音(P48参照)、録音済みトラックがある場合は録音テンポ変更(P62参照)も可能です。

5 ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンで、内蔵音源の音色・音量を設定する



※ピアノの鍵盤を弾いて音源の音色・音量を確認できます。

6 プレイ/ポーズボタンを押す(ピツと音がします)演奏を始めてください



7 演奏を始めた時点から、アンサンブル録音スタート

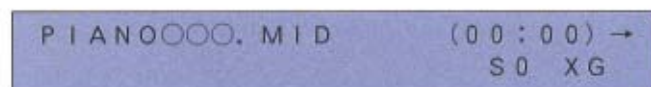
※⑦は、新曲録音の場合です。録音済みパートがある場合は、⑥で曲の再生が始まります。

8 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

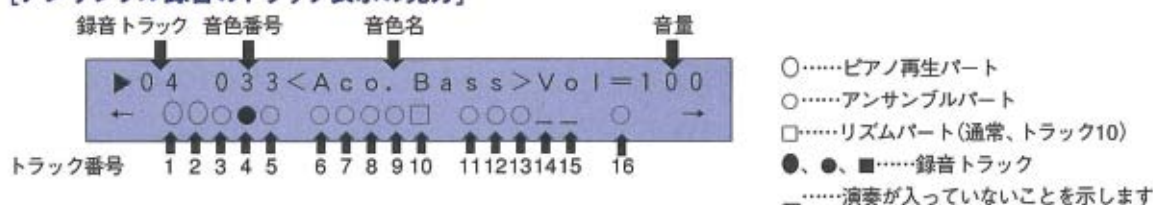


※フロッピーの場合は「ディスクラトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

9 表示が変わったら、録音終了



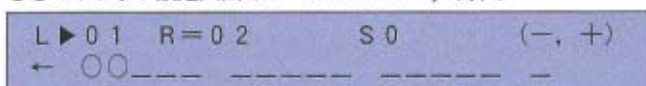
[アンサンブル録音のトラック表示の見方]



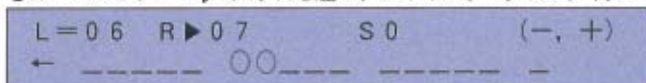
[ピアノパートセット]

- ピアノパートセットとはピアノで再生するトラックを変更する機能です。SMFフォーマット曲では、録音時に01~16、##を自由に選ぶことができます(「##」はピアノを鳴らさない設定です)。
- E-SEQフォーマット曲では、L=01、R=##の設定が可能です(ピアノパートが1トラックの場合の設定です)。
- ピアノパートセットを行うと、変更は曲データとして記録されます。
- 変更後にストップボタンを押せば、ピアノパートセットだけを変更することができます。

- ②のトラック設定画面でカーソルボタン<=>を押す



- カーソルボタン<=>でL、Rを選び、ダイヤル、- / NO、+ / YESボタンでトラックを変更する



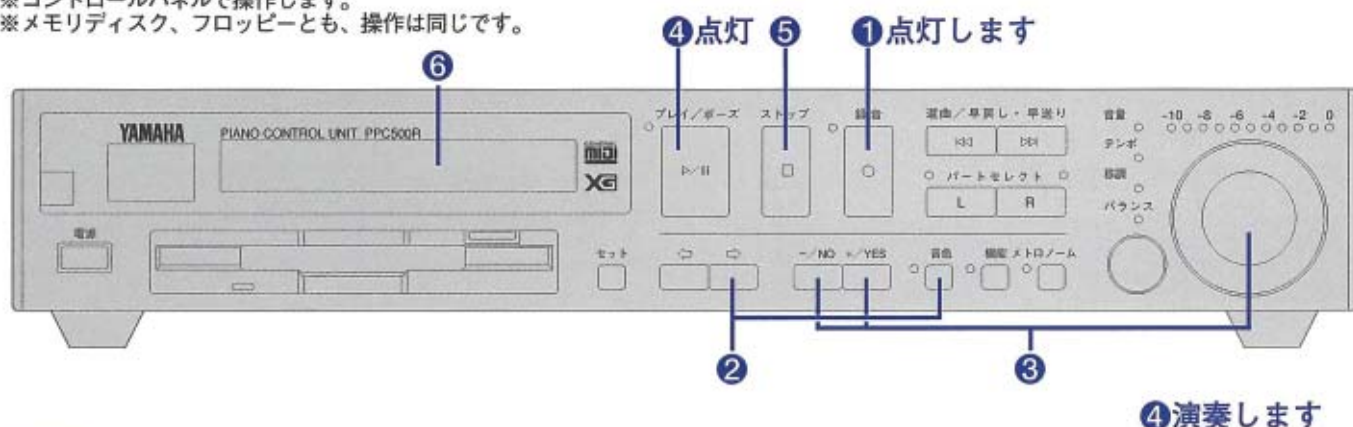
- トラック選択画面に戻るにはカーソルボタン<=>を押す



- サイレント時には、⑥でプレイ/ポーズボタンを押してもピツという音は鳴りません。
- フロッピーに録音中や⑨の表示中に、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、曲名表示になってから取り出してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする「ディスクプロテクトガカッタイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

リズムパートの録音 内蔵音源を使ってリズムパートを録音する

※コントロールパネルで操作します。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。

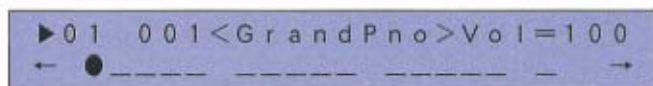


曲を選び、停止中に操作します

1 録音ボタンを押して録音待機に入る



2 カーソルボタン⇨または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す



3 ダイヤル、-/NO、+/YESボタンで10トラックを選ぶ



4 プレイ/ポーズボタンを押す(ピッと音がします)と録音を開始。演奏を始めてください



- 通常、10トラックをリズムパートとして使用しています。
- 10トラック以外でも、音色に<ドラムキット>を指定すればリズムパートとして使うことができます。<ドラムキット>とは、多数の打楽器で構成され、各鍵盤に打楽器音が割り当てられたリズムパート用の音色セットのことです(通常の音色は、一種類の楽器音を鍵盤によって音の高さを変えて発音します)。
- フロッピーを入れないとメモリディスクに、フロッピーを入れておくとフロッピーに録音されます。
- ③で10トラックを選択すると、内蔵音源のリズムキットのみが選ばれるようになります。また、カーソルボタン⇨で選択項目を右に移動すれば、ダイヤル、-/NO、+/YESボタンでドラムキットを変更できます(P109「ドラム音色一覧表」参照)。

5 演奏が終わったら、ストップボタンを押す

シッ コウ チュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

6 表示が変わったら、リズムトラックの録音終了



- ④で鍵盤を弾くと表示中のドラムキットが発音します。録音前に、どの鍵盤を叩くとどんな打楽器が鳴るかを確かめておきます。
- メトロノーム録音 (P48) で「クオンタイズ」(P50) を設定しておくでジャストビートで録音できます。
- リズムパートは、通例1回の録音で1つか2つの打楽器を録音し、再録音ですでに録音した打楽器音の再生を聴きながら「カサネドリ」(重ね録り、オーバーダビング、P50参照)によって別の打楽器音を追加していきます。
- 2回目以降の録音では(すでに他のパートが録音されていれば)、⑤で録音結果を保存するかどうかをたずねてきます。

デ ィ ス ク ニ ホ ソ ン シ マ ス カ ? (←, →)
▶ オ キ カ エ * シ ン キ ョ ク * キ ャ ン セ ル (セ ッ ト)

「オキカエ」の場合は録音した打楽器音が加わった曲のみが保存されます。

「シンキョク」の場合は、元の曲はそのまま、録音した打楽器音が加わった曲が新たに作成されます。

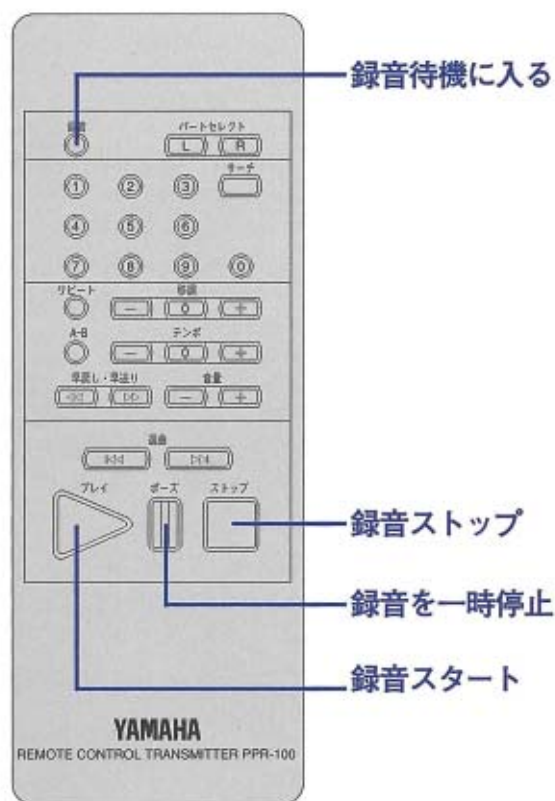
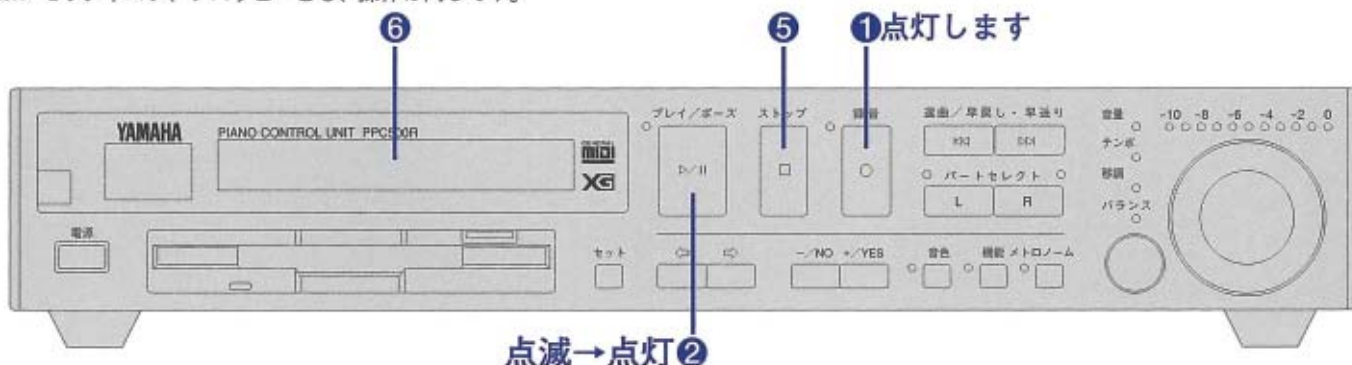
「キャンセル」の場合は、録音結果は保存されません(元の曲はそのままです)。



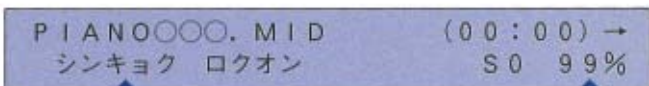
- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもビツという音は鳴りません。
- 録音中や⑤の表示中に、絶対にフロッピーを取り出したり電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、曲名表示になってから取り出してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする「ディスクニプロテクトガカッテイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。
- 10トラックにドラムキット以外の音色を直接指定することは出来ませんが、トラック移動(P68)/トラックコピー(P70)でトラック10に他のパートを移すと音色設定も移動/コピーされ、メトロノーム曲であれば、サイレント時にメトロノーム音はその音色で発音します。

ペダルカウントの録音 弾きはじめてのきっかけを録音する

※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 録音ボタンを押して、録音待機に入る



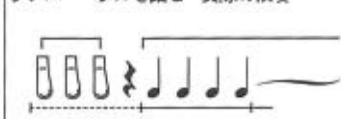
点滅 メモリディスク (またはフロッピー) の残量表示 (%)
※フロッピーに録音する場合はあらかじめフロッピーを入れておく
(メモリディスクに録音する場合はフロッピーは不要)

2 プレイ/ポーズボタンを押す(ピッと音がします)



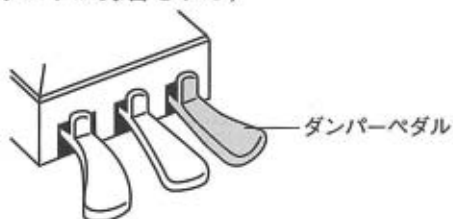
- 「ペダルカウント」は、曲を再生する時、演奏に先だって電子メトロノーム音とダイヤル上部を点滅させることにより、これから始まる曲のテンポや弾きはじめてをつかみやすくするための機能です(P20「ペダルカウント再生」参照)。
- ペダルカウントを録音するには、演奏し始める前に、曲のテンポに合わせて数回ダンパーペダル(一番右のペダル)を踏み、それから演奏を始めます。
- LR曲など、自動演奏と一緒に演奏を開始する時に便利です。
- 再録音時には、ペダルカウントは録音できません。
- ペダルカウント録音の例
図は4拍子の曲で、3拍分ペダルを踏んだところです。

ダンパーペダルを踏む 実際の演奏



- 再生時は、ペダルを踏み込んだタイミングで電子メトロノーム音が鳴り、ダイヤル上部が点滅します。弾きはじめてのきっかけが分かりやすいように踏んでください。
- 再生時は、「ペダルカウント=ON」に設定する必要があります(P20「ペダルカウント再生」参照)。

3 曲のテンポで数回ダンパーペダルを踏む (ペダルカウントが録音される)



4 引き続き、演奏を始めてください (録音がスタート)

5 演奏が終わったらストップボタンを押す

シ ッ コウ チュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加わります。

6 表示が変わったら、録音終了

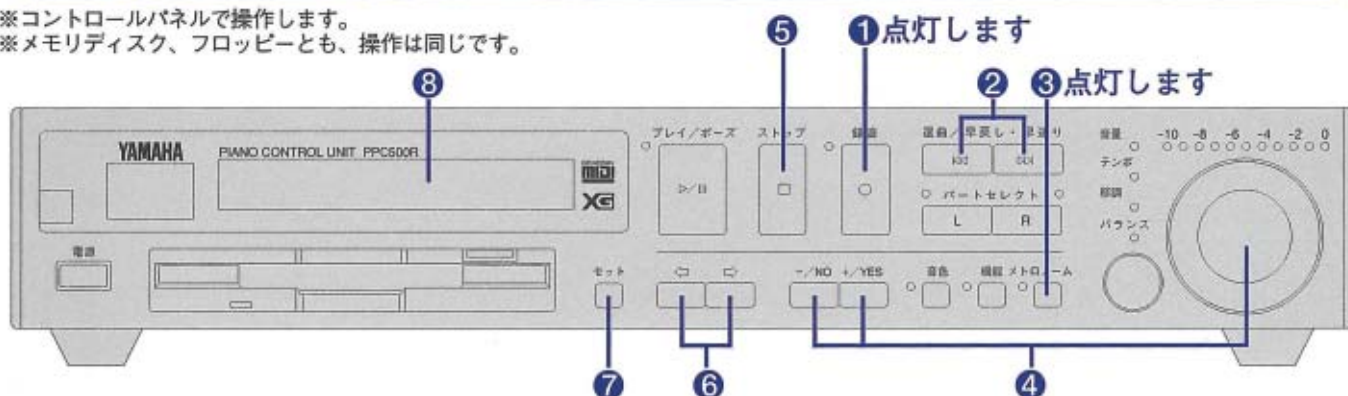
PIANO ○○○. MID (00:00) →
S O X G



- サイレント時には、④でプレイ/ポーズボタンを押してもビツという音は鳴りません。
- フロッピーに録音中や⑤の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 録音を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑥の表示になってからフロッピーを取り出してください。
- ③の表示で右下が「DSK」と点滅していたら、メモリディスク(またはフロッピー)の残量が10%以下です。メモリディスクが一杯になったら曲をフロッピーに移します(P80「曲コピー」、P84「ディスクコピー」参照)。フロッピーの場合は空きのあるものと交換してください。
- プロテクトがオンになっているフロッピーに録音しようとする、「ディスクニプロテクトガカッテイマス!」と表示されます。録音してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出して、プロテクトをオフにしてから録音してください。

録音テンポ変更 すでに録音した曲を速さだけ変更する機能

※コントロールパネルで操作します。
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

2 録音テンポを変更したい曲の曲番号を選ぶ

3 メトロノームボタンを押す

《時間録音の場合》

テンポ ▶ 000% (00:00)

《メトロノーム録音の場合》

==メトロノーム== (001-1)
クリック=ON ▶ 117 > 4/4

4 ▶で示されている録音テンポを、ダイヤル、
-/NO、+/YESボタンで変える

《時間録音の場合》

テンポ ▶ +005% (00:00)

《メトロノーム録音の場合》

==メトロノーム== (001-1)
クリック=ON ▶ 123 > 4/4

5 変更し終わったら、ストップボタンを押す

ディスクニ ホソシマスカ? (←, →)
▶ オキカエ *シンキョク *キャンセル (セット)

6 3つのうちから選び、
カーソルボタンを押して▶を移動させる

ディスクニ ホソシマスカ? (←, →)
*オキカエ ▶シンキョク *キャンセル (セット)

オキカエ.....録音してあった元の曲を消して再録音曲のみ保存
シンキョク.....元の曲も再録音曲も両方とも保存
キャンセル.....再録音曲を保存せず元の曲のままにする

7 セットボタンを押す

ジッコウチュウ

※フロッピーの場合は「ディスクトリダサナイデ!」が2行目に加
わります。

8 表示が変わったら、録音テンポ変更終了

PIANO○○○. MID (00:00) →
S0 80%



- すでに録音した曲を、速さだけ変更する機能です。変更後のテンポが、再生する際のオリジナルテンポになります。
- SMF曲：メトロノーム録音の場合は30～400の範囲で「=001」ずつ、時間録音の場合は-75～+242%の範囲で1%ずつ調節できます。
- E-SEQ曲：メトロノーム録音の場合は30～280の範囲で「=001」ずつ、時間録音の場合は-75～+140%の範囲で1%ずつ調節できます。



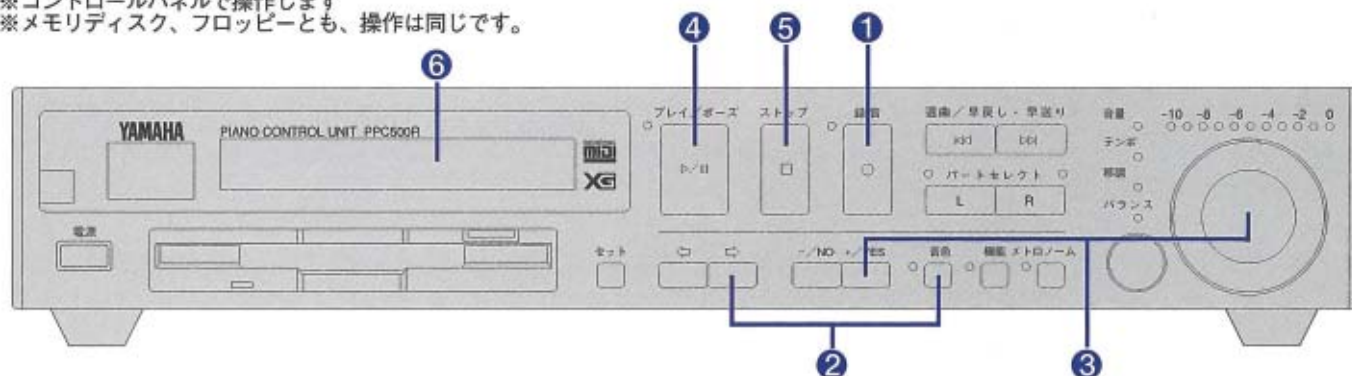
- ④で-/NO、+/YESボタンを同時に押すと、時間録音曲なら000%、メトロノーム録音曲なら「=117」に戻ります。



- フロッピーに録音中や「ジッコウチュウ ディスクトリダサナイデ」の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- サイレントアンサンブルピアノは、実際に鍵盤を動かして演奏を再現するため、早過ぎるテンポを設定すると、音抜けする場合があります(ピアノ電子音、内蔵音源使用時は音抜けしません)。

MDR機能 外部のMIDI機器、パソコンからの演奏データを記録する機能

※コントロールパネルで操作します
※メモリディスク、フロッピーとも、操作は同じです。



1 録音ボタンを押して、録音待機に入る

PIANO○○○.MID (00:00) →
シンキョク ロクオン S0 99%

2 カーソルボタン⇐または音色ボタンを押して、トラック選択画面を呼び出す

▶01 001<GrandPno>Vol=100
← ● ————— →

「—」はそのトラックに何も録音されていないことを表す

3 +/YESボタンまたはダイヤルで録音トラックを16の次(右)に設定すると、次の画面になる

▶MDR MODE REC →

※カーソルボタン⇐で次画面を呼び出すと、ピアノパートの設定が行えます(P57)。

4 プレイ/ポーズボタンを押して外部機器の演奏をスタートさせると、記録開始

5 ストップボタンを押すか、外部機器の演奏をストップさせると、記録停止

シンキョウチュウ
ディスクヲトリダサナイデ!

6 表示が変わったら、MDR録音終了

PIANO○○○.MID (00:00) →
S0 80%



●MIDI IN端子(またはTO HOST端子)に接続した外部MIDI機器やパソコンからの演奏データを、本機のメモリディスクまたは本機にセットしたフロッピーディスクに記録する機能です。

●MDR=MIDI Data Recording。



●④で外部機器のスタート、ストップにより録音開始・終了するためには、MIDIセットアップで「Remote In=ON」になっていることが必要です(P97参照)。

●MDR機能で記録中に鍵盤演奏を同時に録音することはできません。

●MDR機能は、新しい曲番号を選択した場合のみ使用できます。

●記録中や⑤の表示の時は、絶対にフロッピーを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

●記録を途中でやめたい時は、まずストップボタンを押し、⑥の表示になったらフロッピーを取り出してください。

●プロテクトがオンになっているフロッピーに記録しようとすると、「ディスクニプロテクトガカクタイマス!」と表示されます。記録してよいフロッピーの場合は、ストップボタンを押し、フロッピーを取り出してプロテクトをオフにしてから記録してください。

トラック、パート、チャンネル

- トラック、パート、チャンネル……。本書のアンサンブル曲の説明の中に、似たような言葉が出てきます。サイレントアンサンブルピアノ単独の場合はさほど意識される必要はありませんが、パソコンや他のMIDI機器と一緒にご使用になる方のために、ここで整理しておきます。
- <トラック>は、陸上競技の走路のように帯状のものを指す言葉で、転じて「カセットテープはステレオで往復だから4トラック」と、録音テープの記録部分に使われるようになりました。サイレントアンサンブルピアノではこれが16トラックあるとお考えください。1回の録音で、1つのトラックを選び、そこに1パート記録します(LRスプリット録音を除く)。
- その<パート>とは、一つの楽器(または弦楽器のような一つのセクション)の演奏のことです。サイレントアンサンブルピアノには特にピアノ用のパートがあり、LR録音では、LパートとRパートに分けて記録し、ピアノ本体またはピアノ電子音源を演奏させるために使われます。ピアノ以外のパートはアンサンブルパートと呼び、内蔵電子音源を発音させるのに使います。パートはいわば用途(楽器演奏)を表す言葉です。
- <トラック>に記録された音符などのデータを<パート>に結び付けるのが<チャンネル>の役目です。MIDIの世界では、バイオリンに使うドなのか、フルートに使うドなのか区別できるよう、録音時に音符の1つ1つに目印となる番号が付けられます。MIDIには16のチャンネルがあります。
- サイレントアンサンブルピアノでは、これらの関係を分かりやすくするため、トラック1はチャンネル1、トラック2はチャンネル2……と、トラック番号とチャンネル番号がイコールになっており、トラック1と2はピアノのLパート、Rパート、トラック3~9とトラック11~16はアンサンブルパート用、トラック10はリズムパート用です(E-SEQ曲の場合はトラック3はハーフペダル用)。
- 内蔵音源では16のトラックに対応した16種類の音色が同時に発音可能です(ふだんはピアノパートはピアノまたはピアノ電子音源が発音します)。再生が始まると、各パートは同じチャンネル番号の音色番号と音符データを受けて、音色を選び演奏を開始します。

SMF曲			
トラック	パート	チャンネル	発音
1	ピアノLパート (ハーフペダル)	1	ピアノ (ピアノ電子音源)
2	ピアノRパート (ハーフペダル)	2	
3~9	アンサンブルパート	3~9	内蔵音源
10	リズムパート	10	
11~16	アンサンブルパート	11~16	

*ピアノパートの初期値は、表のようにトラック1と2になっています(E-SEQ曲と同じ)、変更も可能です。また、一般的にスタンダードMIDIファイルのピアノパートがトラック1と2であるということもありません。

E-SEQ曲			
トラック	パート	チャンネル	発音
1	ピアノLパート (スイッチペダル)	1	ピアノ (ピアノ電子音源)
2	ピアノRパート (スイッチペダル)	2	
3	ハーフペダル	3	ペダル
4~9	アンサンブルパート	4~9	内蔵音源
10	リズムパート	10	
11~16	アンサンブルパート	11~16	

[*参照ページ]

- ◆ピアノパートセレクト……P24
- ◆ピアノパートセット……P57
- ◆MIDIセットアップ機能……P93~P98